

事務事業評価の評価結果について（平成29年度の事業に対する評価）

会計管理室

評価：4＝できている 3＝概ねできている 2＝課題克服が必要 1＝未着手状況

課等名	中事業名	事業の目的	成果指標（平成29年度）						事業の評価		所管課長等による評価	
			指標名	指標設定の考え方	目標値	実績値	数値以外の目標	目標に対する実績等の分析	評価	所見	平成30年度以降の事業の方向性	所見
会計管理室	会計管理事務事業	債権者等に対して、支出等の執行手続きを円滑に進めるため、審査・出納事務をより一層適正かつ効率的に執行します。	会計事務の一層の適正化・効率化	適正な会計事務に基づき、債権者へ迅速な支払を行います。			会計事務の一層の適正化、効率化を図ります。	津市指定金融機関等に対して銀行検査を実施し、公金収納事務の状況について不備な取扱いがないかを検証しました。結果、適正に処理されていることを確認できました。	4	<p>会計事務の効率的かつ適正な処理・管理体制の構築を図るため、会計事務の手引き及び審査事務マニュアルの見直しを行い、適正な会計事務の執行を図ることができました。</p> <p>また、職員の負担軽減や会計事務の効率化を図る観点から、平成30年1月1日付けで、歳入における調定事務について電子決裁システムを導入し、送達時の書類の紛失のリスクが無くなることや、帳票印刷が省略されることによる用紙の削減を図ることができました。</p>	拡充・充実	<p>会計事務のさらなる効率化や適正化を図るために引き続き事務の見直しや全庁的な注意喚起を行っていきます。</p> <p>また、平成30年1月1日から調定事務に係る電子決裁システムを導入しましたが、今後の運用に当たり、さらなる課題、問題点等も発生することから、こうした点を解決しながら本来の目的である担当課及び会計管理室双方にとっての事務効率化を実現できるよう努めていきます。</p>